

「想いがかたちに」(感謝・感動・絆・前進・必然)

**がんばってます
青年部!**

京都青年中央会の堀井会長と各青年部の代表者とのトークコーナーです。今回は京都左官協同組合青年部 部長 倉 卓也 氏と副部長 田中 昭義氏にお話を伺いました。

其の四十

京都左官協同組合 青年部 の巻



部長の倉 卓也氏

- 堀井** こんにちは。今回は京都左官協同組合青年部部長で広島東洋カープの倉選手を弟に持つ倉卓也さんと副部長の田中昭義さんにお越しいただきました。
- 倉** こんにちは。堀井さん会長就任おめでとうございます。
- 堀井** ありがとうございます。では早速本題に移りたいと思います。まず、青年部の概要についてお尋ねします。
- 倉** 京都左官協同組合青年部はお陰様で現在会員45名、昨年50周年を迎えました。
- 堀井** 50周年を迎えて何か変わったことはありましたか？
- 倉** そうですね。確実なのはみんなの意識が変わり始めたことです。それに、近年は全国で左官という職がどんどん活性化傾向にあり、私たちもこの節目を機会にさらなるステップアップを考えねばなりません。
- 堀井** 京都の枠から全国へ、同業から異業種へ、新たなカテゴリーを持って環境を変えていけば、きっと次のステップが見いだせると思いますよ。自分たちの枠にとらわれることなく、そういった全国組織や京都青年中央会へどんどん参加して、ひとつでも得るものがあれば、また新たな展開が見いだせるのではないのでしょうか？
- 倉** そうですね。いろいろと刺激を受けることはたくさんあります。
- 田中** そういえば、最近、当会の佐藤ひろゆき先生が京都工芸繊維大学の博士号を取得されました。左官という仕事は昔から暗黙知といいますか、経験的な職業でしたが、そのメカニズムを数値化し、科学で解明していくという研究をされており、私たちも期待しております。
- 堀井** それはすごいですね。これもひとつのきっかけとして活性化につながればと思います。今年度、京都青年中央会は「想いがかたちに」というテーマを掲げております。自分たちが結局、何を想い、何をかたちにしていけるかが重要だと思います。
- 倉** おっしゃる通りで、それはとても重要だと思います。少し前までは私たち青年部も人を増やす活動に力を注いできましたが、それ以上に大切なのは組織化していくことや私たちの意識を向上させていくことだと考えています。
- 堀井** 京都左官協同組合青年部がビジョンを明確にして「想いがかたちに」なる様に、そして、京都青年中央会はその起爆剤になれる様に頑張っていきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。



今回の取材の様子



副部長の田中 昭義氏(左)
堀井 秀紀氏(右)



堀井会長とがっちり握手

昨年のボウリング大会の様子。
 チーム優勝は
 全京都建設協同組合 JICチーム。
 3人でトータルスコア896点でした。